



ノデゴザイマス、勿論是等政府貸付金ハ國民ノ負擔ニ於テ行ハレタモノニアリマスカラ、所定ノ條件ニ依ツテ之ガ償還ヲ爲サシムルコトハ當然ノコトデアリマシテ、殊ニ今日ノ如キ國庫ノ財源不足ノ折柄、一段ノ必要ヲ感ズルノデアリマスルガ、是等貸付先ハ何レモ公共團體、學校等、公益ノ目的ヲ有スル團體デアリマシテ、中ニハ近年打續ク經濟界ノ不況ニ依リ支拂財源ヲ得ルニ窮シ、已ムヲ得ズ延滞ヲ致シテ居ルモノモアリマスノデ、右ノ如キモノニ對シテハ、當初ノ條件通り取立ヲ爲スコトニ依リマシテ、其財政上ニ過重ノ負擔ヲ爲サシメ、延イテハ公益上ノ機能ヲ維持セシムル能ハザルガ如キ結果ヲ生ジテハナラヌノデアリマス、ソコデ是等ノ貸付先ニ對シ、其貸付條件又ハ延滞セル元利金ノ支拂方法ヲ、適當ニ變更スルコトハ已ムヲ得ザル措置デアリマシテ、又斯クスルコトガ其回収ヲ促進スルコトニモナルコト考ヘルノデアリマス、以上述べマシタ關東震災貸付金以外ノ、一般會計並ニ特別會計ノ支出ニ依ル、既存ノ政府貸付金等ノ中ニモ、略ボ同様ノ事情ニアルモノガアリマスノデ、此際斯カル事情ニアル貸付金ニ付キマシテハ、貸付條件又ハ延滞セル元利金ノ支拂方法ヲ、變更シ得ル途ヲ開ク必要ガアルト思ヒマス、尤モ斯ノ如キコトハ極メテ重要ナル事柄デアルノミナラズ、又之ガ取扱ハ十分之ヲ慎重ニ致スコトトシ、新ニ委員會ヲ設ケ、之ガ議ヲ經テ實行スルコトト致シタインデアリマス、右ノ趣旨ニ依リマシテ政府貸付金處理ニ關スル

○議長(公爵近衛文麿君) 御質疑ガナケレ  
バ、本案ハ之ヲ酒造組合法中改正法律案外  
三件ノ特別委員ニ付託イタシマス  
イタシマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第二、府縣  
制中改正法律案、日程第三、北海道會法中  
改正法律案、日程第四、市制中改正法律案、  
日程第五、町村制中改正法律案、政府提出、  
衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、  
是等ノ四案ハ之ヲ一括シテ議題ト爲スコト  
御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認  
メマス、白川子爵

府縣制中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

昭和十年三月二十三日

委員長 子爵白川 資長

貴族院議長公爵近衛文麿殿

北海道會法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

昭和十年三月二十三日

委員長 子爵白川 資長

貴族院議長公爵近衛文麿殿

市制中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

市制中改正法律案

貴族院議長公爵近衛文麿殿

報告候也

昭和十年三月二十三日  
町村制中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及  
報告候也

委員長 子爵白川 資長

貴族院議長公爵近衛文麿殿

〔子爵白川資長君演壇ニ登ル〕

○子爵白川資長君 府縣制中改正法律案外  
三件ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲ  
マス、本案ハ先日委員會ヲ開キマシテ、委  
員長及副委員長ヲ選舉イタシマシテ、直ニ  
質問ニ移リマシテ、其翌日更ニ質問ヲ續ケ  
マシテ、討論ノ上採決ヲ致シマシテ、衆議  
院ノ修正通リニ可決決定イクノマシタモノ  
デゴザイマス、大體此提案ノ理由ヲ簡單ニ  
申上ゲマスルト、衆議院議員選舉法ノ改正  
法律ハ御承知ノ如クニ、既ニ昨年ノ六月ノ  
法律第四十九號ヲ以テ公布ニナッテ居リマ  
スノデ、之ニ伴フ所ノ附屬ノ諸法令ノ改正  
モ既ニ其必要ナル手續ヲ了シテ居ルノデゴ  
ザイマス、之ニ伴フテ一面ニ衆議院議員選  
舉法改正ノ趣旨ニ照シ合セマシテ、又一面  
ニハ地方議會ノ議員選舉ニ於ケル過去ノ經  
験ニ徴シマシテ、地方議會ノ議員選舉ニ關  
スル規定ノ改正ヲ行フト共ニ、併セテ其他  
若干ノ事項ニ付キマシテ、事務的ニ必要ナ  
リト考フル點ニ付テ改正ヲ加ヘラレタモノ  
デゴザイマシテ、茲ニ此法律ノ改正提案ト  
ノ四ツノ法律ニ關スルモノデゴザイマシ

テ、其内容ハ相當多數ノ項目ニ瓦ツテ居ルノ  
デゴザイマスガ、其主ナルモノヲ申上ゲマ  
スレバ、議員選舉ニ關スル事項ガ一番主要  
ナル部分デゴザイマシテ、此議員選舉ニ關  
スル改正事項ヲ二ツニ分ケルコトガ出来マ  
ス、第一ハ、直接ニ昨年ノ衆議院議員選舉  
法ノ改正ニ伴フ事項、第二ハ、直接ニ昨年  
ノ衆議院議員選舉法ノ改正ニ伴フモノデハ  
ナイノデゴザイマスルガ、過去ノ實績ニ照  
シ合セマシテ、此際改正ヲ加フルコトガ適  
當ト認メタ事項デゴザイマス、之ヲ第一ト  
第二ニ分ケマシテ、第一ノ方ノ、直接ニ衆  
議院議員選舉法ノ改正ニ伴フ事項ト致シマ  
シテ、其中ノ主ナル點ヲ申上ゲテ見マスレ  
バ、第一ノ中ノ一つハ、成ルベク容易ニ投  
票場所ヲ増設シ得ルト云フ途ヲ、法文ノ上  
ニ加ヘタノデゴザイマス、第一ハ、選舉人  
ノ年齢ニ關スル點、其年齢ヲ算定イタシマ  
スノニ、選舉人名簿確定ノ期日ニ依リマシ  
テ之ヲ算定スルト云フコトニ致シクノデア  
リマス、第三ハ、議員又ハ當選者ニ缺闕ヲ  
生ジマシタ時ニハ、選舉ノ期日カラ一年以  
内ハ一般次點者ヲ繰上げテ之ヲ補充スルコ  
トトナツテ居リマス、第四ニハ、所謂連坐訴  
訟ノ手續ヲ御承知ノ如ク衆議院議員選舉法  
ト同様ニ改正イタシタノデゴザイマス、是  
等ノ四點ガ衆議院議員選舉法ノ改正ニ伴フ  
所ノ事項デゴザイマシテ、之ニ伴ヒマシテ  
選舉法ノ罰則其他ノ規定ヲ準用スル諸規定  
等ガ直接改正ニ伴フ所ノ事項デアリマ  
ス、第二ハ、選舉ノ過去ノ實蹟ニ徵シ  
マシテ、此際改正ヲ加フルコトガ必要ダ  
トヲ期シテ居ルノハ勿論デゴザイマス、是  
ト認メテ改正ニナツタ事項デゴザイマス、

其主ナル點ガ三ツゴザイマスノデ、改正案ニ於キマシテハ、單ニ勅令ヲ以テ指定サレタル所ノ市ノミナラズ、將來ハ市ノ全部ニ亘ツテ議員候補者ノ届出ノ制度ヲ採用シタノデアリマス、之ニ伴ヒマシテ立會人ノ届出、所謂連坐ノ訴訟等ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、衆議院議員選舉又ハ道府縣會議員選舉ニ於ケルト同様ナル選舉運動及其費用ニ關スル取締規定ヲ適用スルト云フコトニナツタノデゴザイマス、議員候補者制度ノ趣意ハ、選舉ニ於ケル無用ノ競争ヲ避ケマシテ、選舉運動ノ統制ト其取締ノ徹底ヲ期スルノニアルノデゴザイマス、此制度ハ衆議院議員選舉並ニ道府縣會議員及大中都市ノ市會議員選舉ニ關シテ施行サレマシタ選舉ノ肅正上、相當ノ效果ヲ與ゲテ居ルノデゴザイマスカラ、此際一步ヲ進メマシテ、市ト云フ市ノ全部ニ付キマシテ、之ヲ實施シヤウト云フ趣意ナノデゴザイマス、今一ツハ不在者投票ノ制度デ、各種地方議會ノ議員選舉ニ關シテ、所謂不在者投票ノ制度ヲ採用スルコトトシタノデゴザイマス、大正十四年衆議院議員選舉ニ關シマシテ、此制度ヲ採用イタシマシテ以來既ニ數次ノ選舉ヲ重ネテ、今ヤ官民共ニ此制度ニ習熟シ來タノデゴザイマスカラ、此際之ヲ地方議會ノ議員選舉ニモ及ボシテ、成ルベク多數ノ選舉人ヲシテ、現實ニ選舉ニ參加スルノ機會ヲ多く與ヘヤウト云フ趣意ナノデゴザイマス、三ツ目ハ、尙ホ比較的稀ニ生ズル場合デハゴザイマスルガ、縣會議員選舉ニ關シマシテ、人口ノ著シク少イ郡ヲ一選舉區ト爲シテ居ルノデゴザイマスガ、是等ノ郡ハ府縣條例ヲ以チマシテ、隣接ノ郡ト併セテ一選舉區トスルコトノ出來ル途ヲ開

キマシテ、各選舉區ニ關スル議員ノ配當ヲ成ルベク均衡ヲ得セシメルヤウニシタノト云フ方法ヲ新ラシク執ッタノデゴザイマス、議員選舉ノ制度ノ改正トシテ、此三ツノ點ヲ探ツタ次第ナノデゴザイマス、以上第一、第二ノ方面ハ、議員ノ選舉ニ關スル制度ノ改正デゴザイマスガ、更ニ議員選舉デナイ方面ニ於キマシテ、而モ地方自治ノ實蹟ニ微シテ、從來ノ制度ニ對シテ若干ノ改善ヲ加フルコトトシタノデゴザイマス、其一つハ租稅滯納處分中ノ者ニ對シ、其市町公民權ヲ停止スルト云フコトニ致シタノデゴザイマス、納稅ノ義務ハ我ニ最モ重要ナル義務ノ一つデゴザイマスルガ、現ニ市町村ノ公職ニアル者ノ中デ、租稅ノ滯納ヲスル者モアル事實ガゴザイマスノデ、斯ノ如キハ市町村住民ノ義務乃至責任ノ觀念ニ照シマシテ、誠ニ遺憾千萬ノコトデゴザイマスカラシテ、是等公共的精神ノ向上ヲ圖リマス爲ニ、租稅滯納處分中ノ者ノ公民權ヲ停止スルト云フコトヲ規定ヲ致シタノデゴザルシテ、豫メ市會又ハ道府縣會ノ議決ヲ經マシテ、伊マス、ソレカラモウ一つハ市會又ハ道府縣會ノ權限ニ屬スル事件デゴザイマシテ、豫メ市會又ハ道府縣會ノ議決ヲ致シタノデゴザルガ、結局ノ所衆議院ニ於キマシテハ種々論難ガゴザイシタノデゴザイマスルガ、最モ論難ニ重要ナルモノハ、此租稅ノ滯納處分中ノ者ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトニ付テ論議サレマシタノデゴザイマスルガ、結果ノ所衆議院ニ於キマシテハ此點ニ付キマシテ修正ヲ加ヘマシテ、被選舉權ヲ與ヘナイト云フ風ニ修正ニナリマシタ、其外修正ニ付テ色ミ細カクゴザイマスガ、ソレハ大體速記錄ニ譲リマスデゴザイマス、

○議長(公爵近衛文麿君) 直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
○子爵今城定政君 賛成  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵近衛文麿君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ  
○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵近衛文麿君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通リテ御異議ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵近衛文麿君) 直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
○子爵西大路吉光君 賛成  
○子爵今城定政君 賛成  
○議長(公爵近衛文麿君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

ル方法ヲ用キテ當選者ト定メタノデゴザイマスガ、是ハ地方議會ノ内部ニ於キマシテ、政府ハ此實際ノ運用ハ公正ニシタイト思フカラ、調令ヲ出シタイト思フト云フヤウナ御質疑應答モゴザイマシタガ、大體此租稅滯納者ノコトガ主タルモノデゴザイマス、本案ノ委員會ニ於キマシテハ、衆議院ノ修正案リ可決確定イタシマシタ、此段御報告申上げマス  
○議長(公爵近衛文麿君) 御質疑ガナケレバ採決ヲ致シマス、以上四案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
日ト云フコトニ臨時府縣會ノ會期ガ定メテ居ルノデゴザイマスガ、七日ト必シモ拘束セラレナイデ、七日ヨリ短イ期間ヲ定メルコトガ出來ルト云フコトニ、必要ガナイ場合デモ七日ト云フコトニ定メテ居ルト甚ダ不便デゴザイマスカラ、七日以下ノ期間ヲ定メテ臨時府縣會ガ開カレルト云フ方法ヲ規定シタノデゴザイマス、以上ガ大體改正ノ要點デゴザイマス、衆議院ニ於キマシテ止スルト云フコトヲ規定ヲ致シタノデゴザルガ、最モ論難ニ重要ナルモノハ、此租稅ノ滯納處分中ノ者ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトニ付テ論議サレマシタノデゴザイマスルガ、結果ノ所衆議院ニ於キマシテハ此點ニ付キマシテ修正ヲ加ヘマシテ、被選舉權ヲ與ヘナイト云フ風ニ修正ニナリマシタ、其外修正ニ付テ色ミ細カクゴザイマスガ、ソレハ大體速記錄ニ譲リマスデゴザイマス、

○議長(公爵近衛文麿君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通リテ御異議ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕







條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含

ノニ以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ

四 借入金

五 定款ノ變更

六 第三十七條ニ於テ準用スル第八條

ノ同意

ム)又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣渡ヲ爲スコト

勅令ノ定ムル所ニ依リ貯藏米穀ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト

五 六 第二號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ貯藏ヲ解除シタルモノヲ委託ヲ受ケ販賣又ハ保管シ其ノ他米穀ノ自治管理ニ附帶シ必要ナル行爲ヲ爲スコト

七 第二號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ヲ取扱フ販賣組合(以下米穀販賣組合ト稱ス)ノ存スル市町村ニ於テ特別ノ事情アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ニ規定スル米穀統制組合ノ事業ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀販賣組合ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

八 第五條 米穀統制組合ノ地區ハ内地ニ在リテハ市町村、朝鮮ニ在リテハ府郡島、臺灣ニ在リテハ廳又ハ郡市ノ區域ニ依ル特別ノ事由アルトキハ米穀統制組合ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラザルコトヲ得命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外市町村等ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ区域ヲスル米穀統制組合ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

九 第六條 米穀統制組合ノ名稱中ニハ米穀統制組合タ

本法ニ依リ設立シタル米穀統制組合ニ非サレバ其ノ名稱中ニハ米穀統制組合タ

第七條 米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ第二條ニ掲グル者ヲ以テ其ノ組合員トス

第八條 米穀統制組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分分

第九條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ區域ヲ指定シ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ米穀統制組合ノ設立ヲ命コトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル期間内ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ行政官廳ハ定款ノ作成ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十條 米穀統制組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ前條第三項ニ規定ニ依り定款ノ作成アリタル時成立ス

前項ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ遲滯ナク組合設立ノ旨竝ニ組合長及副組合長ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

第十一條 米穀統制組合成立シタルトキハ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總チ其ノ組合員トス

第二條ニ該當スル者ニシテ第七條ニ依リ組合員タル資格ヲ有セザルモノハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ米穀統制組合ニ加入スルコトヲ得

第十二條 米穀統制組合ニ總代會ヲ置ク

總代會ハ組合長、副組合長及總代ヲ以テ之ヲ組織ス

第十三條 米穀統制組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十四條 左ニ掲グル事項ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

第一收支豫算

二 經費ノ分賦收入方法

三 事業報告及收支決算

ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

組合長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ總代ヲ指定シ組合長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

組合長及副組合長ノ選任及退任ハ第四項及第二十六條ノ場合ヲ除クノ外其ノ旨ヲ行政官廳ニ届出ヅベシ

行政官廳第四項ノ認可、第五項ノ指定若ハ第二十六條ノ解任ヲ爲シ又ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ告示スベシ

第十五條 定款ノ變更ハ總代會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第十六條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外總代會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 特別ノ事情アル米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十八條 米穀統制組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長、副組合長、一人

評議員、數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合長及副組合長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨げズ

前項ノ職員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 總代會ハ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十條 總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第十一條 米穀統制組合ハ第十八條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ職員ヲ置クコトヲ得

前項ノ職員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

米穀統制組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ組合長ノ請求アリトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ米穀統制組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町

村ニ交付スベシ  
市町村ガ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セズ又ハ

九十日以内ニ之ヲ結了セザルトキハ組合長ハ行政官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制

第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノ

ノ徵收金ニ次ギ其ノ時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀統制組合ノ經費及過怠金ノ分賦徵收、滯納處分、先取特權ノ順位及時效ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依ル

經費ノ分賦及過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟（朝鮮ニ在リテハ異議ノ申立、臺灣ニ在リテハ異議ノ

勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立及訴

第十三條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フスル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第十四條 使用料及手數料ノ徵收、米穀ノ寄託其ノ他米穀統制組合ト組合員トノ間ニ於ケル權利義務ニ關シテハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十五條 行政官廳ハ米穀統制組合ニ對シ組合ノ事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ業務執行又ハ財產ノ狀況ヲ検査シ、定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ米穀統制組合ノ決議若ハ選舉又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害

スルノ虞アリト認ムルトキハ決議、選舉若ハ當選ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 米穀統制組合解散又ハ合併ヲ爲サントスルトキハ總代會ノ議決ヲ經且其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得尙合併ノ場合ニ在リテハ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

米穀統制組合分割ヲ爲サントスルトキハ前項ノ規定ニ準ズル議決及同意ノ外分割ノ各組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條及第十五條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外解散、合併又ハ分割ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 米穀ヲ取扱フ販賣組合（以下米穀販賣組合ト稱ス）ノ存スル市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀充

制組合ノ事業ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ

米穀販賣組合又ハ其ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ナキ市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農會ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ

米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第三十條 米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ハ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米穀ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ以テ地方米穀統制組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

地方米穀統制組合聯合會（臺灣ニ於テハ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ヲ設クルコトヲ得

第三十一條 米穀統制組合及其次の事業ヲ行フ團體ハ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米穀ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ以テ中央米穀統制組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

中央米穀統制組合聯合會ハ法人トス

トヲ得

第三十二條 地方米穀統制組合聯合會及中央米穀統制組合聯合會ハ法人トス

トヲ得

第三十三條 地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州、中央

米穀統制組合聯合會ノ地區ハ各内地、

朝鮮又ハ臺灣ノ區域ニ依ル

第二十九條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ團體員ニ非ズシテ其ノ區域内ニ於テ米穀統制組

組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體員ニ準ジ第四條。第一項

合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體員ニ準ジ第四條。第一項

團體員ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

中央米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令

議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

ノ定ムル所ニ依リ地方米穀統制組合聯合會（臺灣ニ於テハ廳ノ區域内ノ米穀統制組合ヲ含ム）又ハ其ノ事業ヲ行フ

團體ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

第三十六條 地方米穀統制組合聯合會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

米穀統制組合ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル前項ノ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ヲ設クルコトヲ得

第三十七條 第四條。第六條、第八條乃至第十一條。第十四條乃至第十六條、第十八條第五項乃至第七項、第十九條乃至第二十一條、第二十二條第一項及第二十三條乃至第二十六條ノ規定並ニ第二十七條中解散ニ關スル規定ハ地方米穀統制組合聯合會及中央米穀統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十八條 勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀販賣組合聯合會ト稱ス）ハ地

府縣米穀販賣組合聯合會ト稱ス）ハ地

方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ、内地

ヲ區域トスル米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會  
合會（以下全國米穀販賣組合聯合會ト  
稱ス）ハ内地ヲ區域トスル中央米穀統  
制組合聯合會ノ事業ヲ行フコトヲ得  
第三十九條 地方米穀統制組合聯合會  
事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會  
ハ其ノ地區内ニ於ケル米穀統制組合及  
所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事  
業ヲ行フ團體ニ對シ所屬組合ニ準ジ第  
三十七條ニ於テ準用スル第四條。第一項  
グル事業ヲ行フコトヲ得  
前項ノ規定ハ中央米穀統制組合聯合會  
ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣組合聯合會  
ニ之ヲ準用ス

第四十條 中央米穀統制組合聯合會又ハ  
全國米穀統制組合聯合會又ハ道府縣米  
穀販賣組合聯合會ノ事業ヲ行フ  
（第五十七條第二項ニ於テ準用スル場  
合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲ス場合ニ於  
テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ルコト  
ヲ要ス  
第三十條第二項ノ規定ハ前項ノ團體ニ  
之ヲ準用ス  
前條ニ規定スル米穀統制組合及其ノ事  
業ヲ行フ團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ  
其ノ代表者ヲ第一項ノ總會又ハ總代會  
ニ出席セシメ表決權ヲ行使セシムルコ  
トヲ得  
第四十一條 政府ハ毎年内地、朝鮮及臺  
灣ヲ通ジ米穀需給推算ヲ行ヒ米穀ノ供  
給過剩ナリト認ムルトキハ其ノ過剩數  
量ノ範圍内ニ於テ定ムル一定數量ノ米  
穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシ  
ムルコトヲ得  
前項ノ米穀需給推算ノ方法ハ勅令ヲ以  
テ之ヲ定ム

第一項ノ一定數量ノ内地、朝鮮及臺灣  
ニ對スル割當ノ割合ハ勅令ノ定ムル所  
ニ依リ内地、朝鮮及臺灣ノ米穀管外移  
出數量ノ增加趨勢ノ外ニ米穀管外移出  
數量、米穀收穫ノ豐凶等ヲモ參酌シテ  
之ヲ定ム

第四十二條 前條第一項ノ米穀需給推算  
及統制スベキ米穀ノ數量並ニ同條第三  
項ノ割當ノ割合ニ付テハ米穀自治管理  
委員會ニ諮詢シテ之ヲ定ム  
米穀自治管理委員會ノ組織及權限ハ勅  
令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條 政府ハ各内地、朝鮮及臺灣  
ニ於ケル中央米穀統制組合聯合會又ハ  
其ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣組合聯合  
會ニ對シ第四十一條ノ規定ニ依リ定マ  
リタル數量ノ米穀ヲ割當テ其ノ米穀ニ  
付統制ヲ命ズ

政府ハ第四十一條ノ規定ニ依リ内地、朝  
鮮及臺灣ニ於ケル中央米穀統制組合聯合  
會又ハ其ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣組合聯合  
會前項ノ規定ニ依リ定マ  
リタル數量ノ米穀ヲ命ゼラレタル數量ヲ  
付統制ヲ命ゼラレタル數量ヲ  
トキハ其ノ統制ヲ命ゼラレタル數量ヲ  
地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業  
ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ニ對  
シ割當テ。地方米穀統制組合聯合會又  
ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合  
聯合會ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ米  
穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體  
ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定  
定スル者ニ付亦同ジ

第四十八條 米穀統制組合又ハ其ノ事業  
ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定  
定スル者ニ付亦同ジ

第四十九條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ  
定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依  
リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除  
ヲ命ズルコトヲ得  
前項ノ割當テラレタル數量ヲ米穀統制組合  
又ハ其ノ事業ヲ行フ團體及  
對シ割當ツルコトヲ要ス

第五十條 政府ハ米穀統制組合又ハ其  
ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中  
貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏困難  
ナリト認ムルモノニ付當該團體ヨリ賣  
渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ  
爲ス

第一項ノ買入價格ハ内地ニ在リテハ米穀  
統制法第二條ノ最低價格、朝鮮及臺灣  
ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀  
ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團  
體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタ  
ル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ越ユルモ  
其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買  
入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定  
ム  
第五十一條 命令ヲ以テ指定スル地ニ於  
ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ  
設立スルコトヲ得  
前項ノ米穀取扱業者ノ範圍ハ勅令ヲ以  
テ之ヲ定ム  
第五十二條 米穀商統制組合ハ法人トシ  
第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的ト  
ス  
第五十三條 第四條。第六條及第八條乃  
至第二十七條ノ規定ハ米穀商統制組合  
ニ之ヲ準用ス

第五十四條 勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀  
取扱業者ノ組織スル商業組合又ハ重要  
物產同業組合法若ハ朝鮮重要物產同業  
組合令ニ依ル同業組合ハ行政官廳ノ許  
可ヲ受ケ米穀商統制組合ノ事業ヲ行フ  
コトヲ得

第五十五條 米穀商統制組合及其ノ事業  
ヲ行フ團體ハ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米  
穀ノ自治管理ヲ目的ヲ以テ中央米

## 第三十二條乃至第三十七條中中央米穀

統制組合聯合會ニ關スル規定ハ中央米穀

統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

## 第五十六條 勅令ノ定ムル所ニ依リ政府

ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供

給過剩ニシテ米價ガ米穀統制法ニ基キ

テ發スル命令ニ定ムル標準最低價格ヲ

下ラントスル虞アリト認ムルトキハ米

穀自治管理委員會ニ諮問シテ一定數量

ノ米穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制

セシムルコトヲ得

## 第五十七條 前條ノ場合ニ於テハ政府ハ

地方

各內地、朝鮮及臺灣ニ於ケル中央米穀

統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團

體及中央米穀商統制組合聯合會又ハ米

穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體

ニ對シ前條ノ一定數量ヲ割當テ其ノ米

穀ニ付統制ヲ命ズ

## 第四十三條第二項乃至第四項、第四十

四條乃至第四十八條及第五十條ノ規定

ハ前項ノ規定ニ依リ統制ヲ命ゼラレタ

ル場合ニ之ヲ準用ス

## 第五十八條 政府ハ米穀統制組合若ハ其

ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合

若ハ其ノ事業ヲ行フ團體前條ノ規定

ニ依リ貯藏スペキ米穀中貯藏能力其ノ

他ノ事情ニ依リ貯藏困難ナリト認ムル

モノニ付當該團體ヨリ賣渡ノ申込アリ

タル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

價格以内ニ於テ時價ニ準據シテ定メタ

ル價格トス

## 第五十九條 内地ニ於ケル米穀統制組

合、地方米穀統制組合聯合會、中央米穀

統制組合聯合會、米穀販賣組合又ハ

米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會ハ命令ノ

定ムル場合ヲ除クノ外米穀統制法第二

條ノ最低價格及最高價格ノ範圍内ノ價

格ヲ以テスルニ非ザレバ米穀ノ販賣ヲ

爲スコトヲ得ズ農業倉庫業者ニ付亦同

## 第六十條 米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會

ハ定款ノ定ムル幾編ノ議ヲ經テ其ノ所

屬組合又ハ所屬聯合會ニ對シ米穀ノ平

均賣ノ實行ニ關シ必要ナル指令ヲ爲ス

コトヲ得

## 第六十一條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第十二

條、第十八條、第十九條及第三十六條

ノ規定（第三十七條又ハ第五十三條ニ

於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ關シ命令

ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

## 第六十二條 地方米穀統制組合聯合會若

ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統制

組合聯合會告ハ其ノ事業ヲ行フ團體又

ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役員命

令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十

## 六七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含

ム）ニ依ル割當ヲ爲スニ必要ナル行為

ヲ爲ザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ

處ス米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ

團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業

ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十

## 三條ノ規定（第五十七條第二項ニ於テ

準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲

コト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

## 第六十六條 前條第一項ニ掲タル者ニ對

シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰

金ニ處ス

## 第六十七條 第四十九條、第五十條（第

## 六十七條第二項ニ於テ準用スル場合

ノ含ム）及第五十八條ノ規定ニ依ル米

穀ノ買入ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米

穀需給調節特別會計ニ屬セシム

## 附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ

内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ

當分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地

百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣

百分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮

及臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ

米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ變更

スルコトヲ妨ゲズ

## 第六十五條 米穀統制組合若ハ其ノ事業

ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會

若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統

制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、

米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團

體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役

員、第二十一條ノ職員、總代、議員

組合員又ハ代議員本法ニ依ル割當又ハ

貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求

若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役

ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當

ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲

役ニ處ス

## 第六十六條 前條第一項ニ掲タル者ニ對

シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰

金ニ處ス

乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ

## 第六十四條 米穀統制組合若ハ其ノ事業

## 事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ

事業ヲ行フ團體ノ役員故ナク第四十六

條ノ規定（第五十七條第二項ニ於テ準

用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキ

ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

## 前項ノ役員第四十八條第一項ノ規定

（第五十七條第二項ニ於テ準用スル場

合ヲ含ム）ニ違反シタルトキ亦前項ニ

同ジ

## 第六十五條 米穀統制組合若ハ其ノ事業

ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會

若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統

制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、

米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團

體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役

員、第二十一條ノ職員、總代、議員

組合員又ハ代議員本法ニ依ル割當又ハ

貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求

若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役

ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當

ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲

役ニ處ス

## 第六十六條 前條第一項ニ掲タル者ニ對

シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰

金ニ處ス

## 第六十七條 第四十九條、第五十條（第

## 六十七條第二項ニ於テ準用スル場合

ノ含ム）及第五十八條ノ規定ニ依ル米

穀ノ買入ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米

穀需給調節特別會計ニ屬セシム

## 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ

内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ

當分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地

百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣

百分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮

及臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ

米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ變更

スルコトヲ妨ゲズ

## 第六十五條 米穀統制組合若ハ其ノ事業

ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會

若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統

制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、

米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團

體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役

員、第二十一條ノ職員、總代、議員

組合員又ハ代議員本法ニ依ル割當又ハ

貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求

若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役

ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當

ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲

役ニ處ス

## 第六十六條 前條第一項ニ掲タル者ニ對

シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰

金ニ處ス

乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ

## 第六十七條 第四十九條、第五十條（第

## 六十七條第二項ニ於テ準用スル場合

ノ含ム）及第五十八條ノ規定ニ依ル米

穀ノ買入ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米

穀需給調節特別會計ニ屬セシム

## 附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ

内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ

當分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地

百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣

百分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮

及臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ

米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ變更

スルコトヲ妨ゲズ

## 第六十五條 米穀統制組合若ハ其ノ事業

ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會

若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統

制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、

米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團

體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役

員、第二十一條ノ職員、總代、議員

組合員又ハ代議員本法ニ依ル割當又ハ

貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求

若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役

ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當

ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲

役ニ處ス

## 第六十六條 前條第一項ニ掲タル者ニ對

シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰

金ニ處ス

乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ

## 第六十七條 第四十九條、第五十條（第

## 六十七條第二項ニ於テ準用スル場合

ノ含ム）及第五十八條ノ規定ニ依ル米

穀ノ買入ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米

穀需給調節特別會計ニ屬セシム

## 附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ

内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ

當分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地

百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣

百分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮

及臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ

米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ變更

スルコトヲ妨ゲズ

## 第六十五條 米穀統制組合若ハ其ノ事業

ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會

若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統

制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、

米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團

體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役

員、第二十一條ノ職員、總代、議員

組合員又ハ代議員本法ニ依ル割當又ハ

貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求

若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役

ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當

ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲

役ニ處ス

## 第六十六條 前條第一項ニ掲タル者ニ對

シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰

金ニ處ス

乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ

## 第六十七條 第四十九條、第五十條（第

## 六十七條第二項ニ於テ準用スル場合

ノ含ム）及第五十八條ノ規定ニ依ル米

穀ノ買入ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米

穀需給調節特別會計ニ屬セシム

## 附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ

内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ

當分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地

百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣

百分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮

及臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ

米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ變更

スルコトヲ妨ゲズ

## 第六十五條 米穀統制組合若ハ其ノ事業

ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會

若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統

制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、

米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團

體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役

員、第二十一條ノ職員、總代、議員

組合員又ハ代議員本法ニ依ル割當又ハ

貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求

若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役

ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當

ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲

役ニ處ス

## 第六十六條 前條第一項ニ掲タル者ニ對



ニ生産者ハ勿論、米穀ノ取扱業者ニ於キマシテモ、多クハ困難ヲ感ジテ居る場合デゴザイマスルノデ、是等ニ對シマシテ、本案ハ相當ノ便益ヲ與ヘルモノト考ヘルノデアリマス、又米價ガ最低價格ヨリ一定程度値上リヲ致シマスル場合ニハ、貯藏米穀ハ解除ヲ受ケマシテ、市場ニ出廻リ得ルコトト相成リマスルノデゴザイマスカラ、之ニ依ツテ需給ノ關係が圓滑トナリマシテ、消費經濟ニモ好影響ヲ及ボスマノト存セラレルノデアリマス、尙ほ本案ガ實施イタサレマスル場合ハ、相當供給過剩ノ年柄ニ於キマシテモ、政府ハ從來ノヤウニ、大量ノ買上、買入ヲ爲スコトヲ防ぐコトガ出來ルノデゴザリマスルカラ、假令貯藏米ニ對シマシテ、援助成金ヲ交付スルコトト致シマシテモ、國庫ノ負擔ハ之ニ依ツテ相當ニ輕減サレマシテ、米穀統制法ノ運用等ニモ好結果ヲ齎スコトニ相成ルコト信ズルノデゴザイマス、次ニ米穀統制法中改正法律案ニ付テ、一言ヲ申上ゲマス、本改正案ハ第一ニ出廻期ニ於キマシテ、農家ガ米ノ賣急ギヲナシマシテ、政府ヘノ賣渡申込ガ一時ニ殺到スル等ノ弊ヲ防止イタシマスル爲ニ、最低價格ニ金利及保管料ヲ加算スルコトト致シタルアリマス、第一ハ非常災害等ノ場合ニ、政府所有米ヲ賣渡シマシテ、應急ノ措置ヲナシ得ルノ途ヲ開クコト致シタノデアリマス、第三ハ粟・高粱及黍ト同様ニ、米ノ代用食糧デアリマスル小麥及小麥粉ニ付キマシテモ、輸入ノ制限及輸入稅減免除ヲナシ得ルコト致シタノデアリマス、最後ノ糾共同貯藏助成法案ハ、糾ノ共同貯藏ニ付キマンテハ、既ニ昭和五年及同年ノ大豐作ニ際シマシテ、之ヲ獎勵實行イタシ、相當效果ヲ收メテ居ルノデゴザイマスガ、今回ハ此糾ノ共同貯藏ノ助成ヲ恒久的施設トシテ行ハムトスルモノデゴザイマス、即チ産業組合、農會等ノ團體ガ米ノ出廻數量ノ

調節又ハ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ糾ノ貯藏イタシマスル場合ニハ、政府ハ此貯藏團體ニ對シマシテ、金利及保管料ニ相當スル政府所有米穀ヲ交付スル所ノ方法ヲ以テ獎勵ヲ致シマシタ、依テ以テ米穀統制法等ニ依ル出廻調節ト相俟チマシテ、米穀ノ統制ヲ圖ラムトスルモノデゴザイマス、右三法律案ノ提案理由ハ以上申上ゲマシタヤウナ次第デゴザイマス、會期切迫イタシマシテ、御審議上ノ不便ハ如何ニモ恐縮ニ存ジマスルガ、何卒御審議ノ上御協贊ヲ賜ラムコトヲ切ニ御願フ申上ゲマス。

○議長(公爵近衛文麿君) 質疑ノ通告ガゴザイマス、上山滿之進君演壇ニ登ル。

(上山滿之進君演壇ニ登ル)

○上山滿之進君 私ハ只今上程サレマシタ法案ニ對スル直接ノ質問ノ前ニ、總理大臣ニ伺ヒタイト思フコトガアリマス、總理大臣ハ貴族院ノ審議權ト云フモノヲドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスルカト云フコトヲ私ハ疑ハザルヲ得ヌノデアル、此案ガ衆議院ニ上程サレテ今日迄、二十五日間衆議院デハ審査イタシテ漸ク今日通過イタシマシタ、私ハ衆議院ノ審査ハ遲レタトハ思ヒマセヌ、何シテモ凡ソ七十箇條ノ大法案デアル、之ニ對シテ質問ヲシマスルト二日三日ノコトハ別論ト致シマシテ、大體ニ於テ二十五日ト云フモノハ長イコトハナイ、長過ぎギハシナインダト思フノデアリマス、實ハ衆議院ノ速記錄モ大半讀ミマシタ、大體ニ於テ其質問ハ如何ニモ要領ヲ得テ居ルノデアリマス、無駄ナ質問ガ殆ド無イト言フテ宜シイノデアリマス、以テ衆議院ノ審査ガ無益ノ時ヲ費シタ云フコトハナイト、斯ウ云フ風ニ思フ、所ガ此會期ノ殆ド全部ヲ残リノ全部ヲ衆議院ガ費シ、貴族院ニハ今日初メテ上程サレマシタ、今明日シカニ、ドウシタラ宜シイノデアリマスカ、ソレハ決議權ト云フ時、貴族院ニ會期ノ切迫シタ場合ニ

カレルナラバ、宜シク御考ノアルベキコト思フノデアリマス、此唯ニ二日間、或ハ三日アルカモ知レマセヌ、會期ノ延長ガアリマシタ所デ、此五日ヤ七日延バシタ所ガドウニモ斯ウニモ仕方ガナイ、質問ハ逆モ盡ラムトスルモノデゴザイマス、右三法律案ノ提案理由ハ以上申上ゲマシタヤウナ次第デゴザイマス、會期切迫イタシマシテ、御審議上ノ不便ハ如何ニモ恐縮ニ存ジマスルガ、何卒御審議ノ上御協贊ヲ賜ラムコトヲ切ニ御願フ申上ゲマス。

○議長(公爵近衛文麿君) 質疑ノ通告ガゴザイマス、上山滿之進君演壇ニ登ル。

(上山滿之進君演壇ニ登ル)

○上山滿之進君 私ハ只今上程サレマシタ法案ニ對スル直接ノ質問ノ前ニ、總理大臣ニ伺ヒタイト思フコトガアリマス、總理大臣ハ貴族院ノ審議權ト云フモノヲドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスルカト云フコトヲ私ハ疑ハザルヲ得ヌノデアル、此案ガ衆議院ニ上程サレテ今日迄、二十五日間衆議院デハ審査イタシテ漸ク今日通過イタシマシタ、私ハ衆議院ノ審査ハ遲レタトハ思ヒマセヌ、何シテモ凡ソ七十箇條ノ大法案デアル、之ニ對シテ質問ヲシマスルト二日三日ノコトハ別論ト致シマシテ、大體ニ於テ二十五日ト云フモノハ長イコトハナイ、長過ぎギハシナインダト思フノデアリマス、實ハ衆議院ノ速記錄モ大半讀ミマシタ、大體ニ於テ其質問ハ如何ニモ要領ヲ得テ居ルノデアリマス、無駄ナ質問ガ殆ド無イト言フテ宜シイノデアリマス、以テ衆議院ノ審査ガ無益ノ時ヲ費シタ云フコトハナイト、斯ウ云フ風ニ思フ、所ガ此會期ノ殆ド全部ヲ残リノ全部ヲ衆議院ガ費シ、貴族院ニハ今日初メテ上程サレマシタ、今明日シカニ、ドウシタラ宜シイノデアリマスカ、ソレハ決議權ト云フ時、貴族院ニ會期ノ切迫シタ場合ニ



シマシテ、其場合ニ豫算ニ影響ガアリハシ  
ナイカト云フ點デアリマス、此點ハ何レ豫  
算ト關聯シテ御説明ヲ申上ゲマセヌケレ  
バ、徹底イタスコトハ困難ト思ヒマスルガ、  
結論ヲ申上ガマスレバ、只今衆議院ニ提出  
ヲ致シテ居リマスル追加豫算ヲ、此際追加  
ヲ更ニ致サナケレバナラヌ程ノ關係ガアル  
モノデハナインデアリマスガ、是ハ數字ニ  
關スルコトデアリマスルカラ、他日ノ機會  
ヲ俟シテ申上ゲタイト存ジマス

○上山満之進君 ソレデハ次ノ此案ニ關係ヲシマス具體的問題ニ付テ、一ツ二ツ御尋ね致マス。ム、大義是討伐平定、大變文

策トヲ一緒ニスルノガイカヌ、其ニミ穀政策方非常ニ立チニクノデアルト云フ意見ヲ持テ居リマス、ソレカラ米價ハ一般物價ニ釣合ハナケレバナラヌ、今日ノヤウナ高米價政策ハ宜シクナイ、斯ウ云フ意見ヲ持テ居リマス、尙ほ今日最低米價ノ基準ニナツテ居リマス生産費ヲ取ルノハ、誠ニ宜シクナイト云フコトヲモ主張シテ居ル一人デアリマス、併ナガラ會期切迫ノ場合デ、餘り長イ根本論ヲ此處デ皆様ノ御聽キニ達スルト云フコトハ如何カト思ヒマスルカラ差控ヘマス

(副議長伯爵松平頼壽君議長席ニ著ク)  
但シ是等ノ意見ハ嘗テ新聞紙上ニモ掲載イタシマシタシ、尙ホ皆様ノ御手許ヘハ其後ニ之ヲ「パンフレット」ニシテ差上ゲタト思ヒマスカラ、若シマダ御持デゴザイマシタラバ、サウシテ御讀ミガゴザイマセヌケレバ、讀ンデ戴クト云フコトニ致シタイト思ヒマス、今日此處デ質問ヲ致シマスノハ二ツ或ハ三ツノ點ニナツテ居リマス、第一、此國庫負擔ノ無限ノ増加ヲドウスルカト云フ問題ニアリマス、現在ノ米穀統制法ハ一昨年十一月カラ行ハレマシテ、是ハ若シ政府ノ定メタル最低價格ナラバ、何時モ言フテ

院議事速記録第二十二號 米穀自治管理法案外二件 第一讀會

來ル者ニ米ヲ買ッテヤル、無限ニ買ッテヤル、斯ウ云フ其情況デアリマスガ、倘之ヲドウシタラ宜イカト云フコトガ問題ナノデアリマス、農林大臣ハ今度ノ自治管理、詰リ過剰米綿制ニ依ツテ過剩米綿制デヤレバ過剩米デ抑ヘルカラ、ソレデ餘リ希望賣上ハナキモノダト云フコトヲ言フテ居ルラシイノデアリマス、是ハ私共實ニ了解ラスルコトガ出來ヌノデアリマス、統制米……過剩米ヲ統制スルノハ綿制米ト假リニ申シマセウカ、統制米ニ行クモノハ是ハ統制サレルノデスカラ、命令デ行クノダカラ是ハ賣ッテ行ク外アリマセヌ、併シ政府デ持ツテ來テ賣ルノハ是ガ統制米、是ガ自由米ト云フヤウニ區別ガアル筈ガナイ、何デモカンデモ構ハヌ、米ガアレバサウ云フ自分ノ懷ガ出來秋ニ苦シケレバ、サウシテ早ク金ニ換ヘタキハシマセヌ、皆自分ノ都合デ賣ルノデアリマス、又賣ヲ言フト出來秋ニソンナニ賣リタクハナイ、併シ賣ラザルヲ得ヌカラ賣ケト言ツタッテ聽キハシマセヌ、誰ダツテ聽キハシマセヌ、皆自分ノ都合デ賣ルノデアリマス、又賣ヲ言フト出來秋ニソンナニ賣リタクハナイ、併シ賣ラザルヲ得ヌカラ賣ル、ソレガ統制ニ掛ツタッテ、統制ヲ遠慮シテ希望賣上ヲ言フテ來ヌト云フコトハ到底アルベカラザルコトデアリマス、デ、政府ノ計算マシテモ、五百萬石ハ統制サレマセウ、過剩米ヲ凡ソ五百萬石スルモノト見テ計算ヲ立テオ出デニナリマスガ、是ハマアドナルカ分ラヌ、五百萬石トマア假リニ致シタラ、詰リ五千五百萬石、詰リ十倍以上ノ米額ニ買ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ推測ヲバ、將來ヲ推シテ、將來モ八年間キットサバスト云フコトハ誰モ無理ト思ハヌト思フノデアリマス、唯現行ノ統制法ハ一年カ大多數ノ年ハ米ヲ買ハナケレバナラヌ、多額ニ買ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ推測ヲノデアリマス、殊ニ尙ホ此過剩米ヲ統制スルノダマ自由ニ賣買出來ル米ガアル、自由ニ賣買出來ル米ヲナゼ澤山ニ持ツテ來ヌト云フコトガ言ハレマスカ、逆モ言ヘナインデアリマス、此百五十萬石ガ多イトカ少イトニ嵌ツテ居リマセヌケレドモ、若シ是ガ昭和二年度カラ一昨年ノ統制法ガ行ハレテ居タモノナラバ、ズット一年カラ八年迄毎年買ッテ居ナケレバナラヌト云フ算盤ガ出ル、

カ云フコトハ私ハ言フコトハ出來マセヌ、是ハ全ク見當ノ付カヌコトデアル、ケレドモ百五十萬石ハ確カデアルト云フコトガドウシテ言ヘルカ、言ヘヤウガナイ、ソレカラ尙ホ其米方持越ニナツテ統制ガ一年限リヤルンデスカラ、一年ノ末ニ持越ニナルト云フト是モ買ツテヤラヌナラヌ、是モ三百萬石ノ中何百萬石ニナルカ分ラナイ、サウ云フ分ラナイコトヲ以テ國庫ノ負擔ガ大イニ……サモ負擔ガ現實ニ減ルカノヤウニ言ハレルト云フコトハ、私ハ殊ニ分リニクイノデアリマス、ズ、先程モ申シマシタ通りニ、初メカラ國庫ノ負擔ヲ減ズルト云フコトハ大臣タ問題デハナカツタ、政府デハサウ致シマスト誠ニ困ル、殊ニ政府ノ發表サレタ所ニ依リマスト、平年作デモ二百二十萬石過剩米ガ出ルノデアリマス、平年ト云フコトハ普通ト云フコトデアラウト思フ普通ノ年ニマス、普通デモ二百二十萬石ノ過剩米が出ルト云ヘバ、想フニ年々過剩米が出ルト言ッテ大體宜シイ、年々過剩米が出マスト云フト、前ノ年ノ過剩米ト云フモノガ翌年ニ持越シテ、前ノ年ノ過剩米ノ始末ハ其年デ付ケルカラ、其年ノ末ニナルト翌年ニ米ヲ持越ス、是ハ政府ガドウシテモ買ハナケレバナラヌ、場合ニ依タラバ買ハヌデモ、米屋ガ買ツテ吳レテ濟ムカモ知レマセヌガ、先ヅ買ハナケレバナラヌモノト見ナケレバナラヌ、後ヲ追駆ケヽ年々平年デモ二百二十萬石ト云フモノハ剩ツテ來ル、政府ノ倉へ積ム、其米ハ政府ガドウシテモ買ハナケレバナラヌ、ドウシテ是デ以テ國庫ノ負擔ガ減ルノデアリマスカ、是ハ政府ガ今一ツ出シテ居ラレル、衆議院ニ出シテ居ラレル表ニ依リマスト五百五十萬石デアツテ、サウスルト今ノ法律ト今度ノ法律ト較ベルト、今

モノガ、此負擔が低イト、斯ウ云フ計數ヲ出シテ居ラレル、是ハ此處デ批評シテモナカ追付キマセヌカラ申シマセヌガ、餘リニモヒドイ表ヲ御出シニナッテ居ル、餘リニモ國庫ノ負擔減ズルト云フコトヲ強ク御示シニナツク表デアルト思フ、此點ニ付テ農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツハ米ノ需給推算ヲシナケレバナラヌ、今度ノ法律ニ依リマスト來年ハドノ位米ガ足ラヌグラウカ、剩ルグラウカト云フコトヲ測定ヲシマス爲ニ需給推算ヲ行フ、需用供給ノ推算ヲ行フ、產額ト輸入額、移入額等ヲ加ヘタモノカラ輸出額ヲ引イテ、サウシテ消費額ヲ引イテ、残リデドノ位一體足リルトカ足リストカ云フコトヲ計算シヤウト云フノデアリマス、此計算ハ誰モ多少米ノコトヲ考ヘテ居ル者ハ致スコトデアリマス、私自身モ度ミシテ見タノデアリマス、併シ一度モ當ツクコトガナイガ、政府デモ當ニヤッテオ出デニナルヤウデアリマスガ、ソレハ昭シマセヌケレドモ、私ノ知ツテ居ル限りニ於テ政府ノ今日迄ノ豫測ト云フモノハ、チヨットモ當ツテナイノデアリマスガ、ソレハ昭和七年度デアツト思ヒマスガ、此時ヒドク米ガ足リナイト云フノデ外國米ヲ輸入シタコトガアル、所ガ案外ニ米ガ澤山アツタ、仕方ガナイカラ此外國米ヲ又出シテ、賣出シタト云フコトガアルノデアリマス、尙ホ近クハ昨年ノ三月ニ衆議院ノ要求ニ依ツテ、農林省ハ需給推測ヲ出シテ居ル、ソレハ三月デアリマス、今度ノ需給推測ハ、此新法ニ依テヤル需給推測ハ、先づ十二月ト、第二回ハ二月ニヤル、是ハ三月デアルノデスガ、比較的過去ノ實績ヲ基ニシタ數字ノ學ガッタ時デアル、其時衆議院ニ提出シタ計數ト、今度實際十月ノ末日ノ計算ト較ベテ見マスト、移入デ、朝鮮臺灣カラ移入スル移入米額ガ二百萬石違ツテ居ル、大凡ソ、大數三百

萬石達ツテ居ル、ソレカラ消費量、消費量ハ  
四百萬石達ツテ居ル、出入リカラ申シマスト  
六百萬石達ツテ居ル、斯ウ云フ需給推測デモ  
宜イト言ハレルナラバ非常ニ無茶ナコトデ  
アルト私共ハ思フノデアル、農林大臣ハ衆  
議院デ段々推測ヲスルモノガ慣レルカラ、  
段々ウマク當ルヤウニナルトカ云フヤウナ  
コトヲ仰シシヤッテオ出デニナリマスガ、是  
ハ慣レル、慣レヌノ問題デナイ、推測ヲス  
ル人ノ能力ノ問題デナイ、能力ノ問題ハナ  
イ、全ク誰ニモ豫見ノ出來又事柄デアル、  
サウ云フ風ニナルノデアリマス、早イ話ガ  
消費量デアリマスガ、來年ノ消費量ハドノ位  
要ルダラウカト云フコトヘ、誰ガドウシテ  
豫測スルコトガ出來ルノデアリマスカ、國  
民ガ少し景氣方好イトカ、少シ米ガ安イト  
カ云フノデ、チヨット氣ヲ許シテ食ヒ過ギレ  
バ直グ何百萬石ト達フノデアル、私能ク申  
シマスガ、一人當リ五升ト云フ米ハドンナ  
米カ、五升ト云フ米ハ國民ノ一人當リ一年  
ノ消費量ガ多イトカ、少イトカデ五升達フ  
トスレバ、總高ニ於テ先づ七千萬人ト見マ  
シテ、五升ト云フ米ガ三百五十萬石ノ達ビ  
ニナル、五升ト云フ米ヲ碎イテ、毎日ニ分  
ケテ見マスト、三百六十五日ニ割ツテ見マス  
ト、一匁何才ト云フモノニナル、一匁ト云  
フ米ハ計タコトモアリマセヌガ、ソレヲ飯  
ニ炊イテ、小サナ茶椀ニ一杯アルカ無イカ  
位デアル、小サナ茶椀ニ一杯アルカナイカ  
ノ米ヲ、食フカ食ハナイカニ依ツテ一年ニ  
百五十萬石多イカ少イカト云フ問題ガ起  
ル、ソンナモノナ豫測スルト云フコトハ、  
是ハ神様デモ蓋シ出來ヌダラウト思ヒマ  
ス、來年景氣ガドウナル、米ノ値ハドウナ  
ル、サウ云フ到底出來ナイコトヲ以テ基準  
ニシテ、ソレデ米ガ剩ル、足リメト云フコ  
トヲ極メテ、之ヲ實際ノ政策ニ應用シヤウ  
ス、云フノデアル、私共モ需給推算ヲ取リマ  
ス、取ルノハ大體ノ模様ヲ見ヤウト云フノ

カスルトソレガ役ニ立ツコトガアル、サウソレデ是ダケ必ズ食フモノダト云フヤウナ云フ程度デ取ルナラバ宜シイケレドモ、實際政策ニ應用シテ、統計ノ上デ是ダケ出タ、シイト思ヘバ、マルツキリ捨テシマフ、ドウソレデ是ダケ必ズ食フモノダト云フヤウナコトニシテ、實際政策ニソレヲ應用シヤウト云フコトハ、非常ニ無理ナコトデアル、無理ヲ何故ンナケレバナラスカ、皆過剩米ト云フノデナイト、誠ニ都合ガ悪イモノデスカラ、サウ云フコトニナツンデス、政府ニ御尋シタイノハ、私ハ到底過剩米ノ推測ト云フモノハ出來ヌト思ヒマスガ、但シ十石違テモイカヌトカ、五十石違テモイカヌト云フノヂヤアリマス、或程度ハ許スケレドモ、何百萬石ト云フ數量ノ違フ性質ノアル消費量ヲ押ヘルト云フコトハ出來ヌト思フノデアリマスガ、政府ハ其過剩米ノ間違ガ何十萬石、或ハ百萬石迄ハ許サレルト云フ御積リデアリマスカ、ソレデソレガ或程度ノ、或限度ノ過剩米ヲ許スト云フ、是ダケハ間違テモ構ハヌト云フ數字ガアレバ伺ヒタイ、ソレカナイ以上ハ誠ニ分ライ、三百萬石剩テモ、五百萬石剩テモ、又足リヌデモ、ドウモソレハ仕方ガナイ、総計ノ相違ダ、斯ウ云フ風ニナッテハ統計ノ爲ニ我ニハ囚ハレル、統計ニ使役サレルコトニナル、現ニ政府ハ昭和十年度、昭和十一年度ノ需給推算ニ於テ、國民ノ消費量ヲ七千二百萬石ト押ヘテオ出デニナルシイ、七千二百萬石ト云フコトハ何カラ出タカ、是ハ過去五年間ノ平均カラ出テ居ラシイ、諸君ニ御考願ヒタイノデアリマスガ、一體マデハ食ヅテモ宜イト云フヤウナコトヲ考アルカラ、ソレデ是ハ此上ハ食フチヤイカヌ、平均ノ消費量ガ幾ラデアルカラ、此處國民ガ消費スルノニ平均ノ消費量ガ幾ラデアルカラ、一體飲食ヲスルモノト御考ニナツテ居ルカ、是ハ頗ル疑ハザルヲ得ナイ、今消

費量ノコトダケヲ申シマシタケレドモ、移入量ニシテモ是モチツトモリマセヌ、殊ニ朝鮮ノ移入ノ如キハ、朝鮮人ハ自分ノ食フ米ヲ食ハヌデ賣出ス、丁度消費量ト結果ハ反對デアリマスケレドモ、同ジ原因カラ出来ル、米ガ高ケレバ自分ノ食フモノヲ食ハヌデグンヽ賣出スノデスカラ、チヨットモソニ計算ノ立チヤウガナイ、政府ハ需給推算ノ過剰米ト云フ數字ハ、過剰米ノ數量ハ何百萬石或ハ何十萬石マデ過誤ヲ許スト云フ御積リデアルカ、ソレヲ許スト云フ御積リデナケレバ全ク分ラナクナル、マダ申上ガタイ、御尋シタイコトモアリマスガ、此場合、私はデ措キマス

大體ノ豫定ヲ致シマシテ、之ヲ民間ニ於ケル過剰數量ノ貯藏ヲ致スト、殊ニ内地ノミヂナク、朝鮮、臺灣ニ於キマシテモ一定量ノ統制ヲ致スト、斯様ニ相成リマスルコトニ依シテ、米價ノ最低價格ヲ割リマスル危險ヲ非常ニ防止シ得ル效果ガアルト云フコトハ私共疑ハヌノデアル、斯様ナコトニ致シマシテ、一面ニハ米價ニ於テ貯藏ヲ致スト、此仕組ヲ取りマスルコトニ依シテ、政府買上米ノ殺倒ヲ非常ニ防止シ得ル效果ガアルト云フコトハ、是ハドリノ私疑フ必要ハナインゾヤナイカト考へルノデアリマス、更ニ上山サンノ御疑ハ、米ノ供給ハ大體ニ於テ過剰ノ情勢デアルノデアルカラ、年々結局過剰米ト云フモノガ餘ツテ行シテ、國ノ負擔ハ増大スルバカリデナナイカト、斯ウ云フ御疑惑ノヤウデゴザイマス

認メテ居ル譯デアル、併ナガラ假リニ之  
シマスレバ、之ニ依シテ財政上ノ負擔ハ相  
當ニ輕減シ得ルト云フコトハ、私ハ申上ゲ  
マシテ敢テ誤リデナカラウト信ズルノデア  
リマス、上山サンノ第三ノ御疑ハ、政府ガ  
衆議院ニ参考書類トシテ出シテ居ル財政負  
擔ニ關スル將來ノ推算ハ極メテ杜撰ナモノ  
デヤナイカト、斯様ナ御意見デゴザイマ  
ス、此點ハ固ヨリ御承知ノ通リニ、將來ニ  
於ケル米ノ需給關係ト云フモノヲ、マダ米  
ノ植付モ致シテ居リマセヌ今日ニ於テ、一  
應ノ計算トシテ立チマスル譯デアリマスル  
カラ、是ガ正確デナイト云フコトハ、是ハ  
モウ致方ナイコトデアリマスケレドモ、併  
ナガラ大體ノ需給ヲ假定イタシマシテ、其  
假定ノ下ニ於ケル計算ト致シマシテハ、私  
共ハ固ヨリ是ハモウ正確ト云フコトハ誰ぞ  
申上ゲルコトハ出來ナイコトデアリマスケ  
レドモ、大體ノ傾向トシテ斯様ナ傾向ニア  
ルト云フコトノ御認メヲ願ヒマスル程度ノ  
御参考ニナル計算デハナイカト思フノデア  
リマス、尤モアノ計算ノ中ニハ、色ミノ出  
入りガアルコトハ御認メノ通りデアリマス、  
或部分ハ寧ロモウ少シ計數ヲ多クスル方ガ  
宜クハナイカト思フ點モアリマスシ、又減  
シテ計算スル方ガ適當チヤナイカト云フ點  
モ、是ハ色々出入リニ付テノ御議論ハ當然  
アリ得ルコトト思ヒマスケレドモ、大體ノ  
結論トシテ先づ此程度ノ傾向ヲ有ツテ居ル  
ト云フ位ノ御認メヲ願ヒマスル材料トシテ  
ハ、多少御参考ニナリ得ルコトデハナイカ  
ト思フノデアリマス、吳モ申上ゲマスガ、  
將來ニ於ケル金ノ計算ノコトハ、是ハ實際  
困難ナコトデアリマシテ、議論ノ餘地ノナ  
イヤウナ正確ナ財政上ノ計算ヲ事前ニ彈キ  
出シマスト云フコトハ、是ハモウ殆ド不可

能ニ近イ、困難デアルト云フコトハ、是ハ御了解ヲ願ツテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、デ私共考ヘマスル所ヲ以テ見マスレバ、只今申上げマスルヤウニ、今回ノ法案ルト云フコトガ、米穀政策トシテハ極メテ重要ナコトデアルト云フコトモ私共ハ考ヘニ依リマシテ、國庫ノ負擔ハ相當ニ輕減シ得ルモノデアリ、又此負擔ノ輕減ヲ圖リ得ルト云フコトガ、米穀政策トシテハ極メテ居ル譯デアリマシテ、假リニ之ヲ近イ例ヲ取リマシテ御参考ニ供シマスレバ、是モ上山サン、モウ十分御承知ノコトデアリマシテ、甚ダ恐縮ナ次第デアリマスケレドモ、御参考マデニ一言イタシマスレバ、例ヘバ昭和八年ノアノ豐作ノ場合ニ於キマシテ、政府ハ一方ニハ、御承知ノヤウニ千七十萬石ノ買上ガヲ實行イタシ、更ニ民間ニ於キマシテ、内地朝鮮等ヲ通ジマシテ約九百萬石ノ糲ノ貯藏ヲ行々々譯デアリマス、玄米ト致シマシテ約四百五十萬石、若シ亞ノ場合ニ民間ニ於ケル糲ノ貯藏ト云フコトガナカツタナラバ、アノ年ノ政府ノ買上米が千七十萬石有デ止マリ得タカドウカ、私ハ恐ラク政府買上米ハ、アノ時民間ノ糲貯藏ナカリセバ、更ニ二百萬石ト申シマセウカ、三百萬石ト申シマセウカ、相當量ノ增加ガアッタノデハナイカト思フノデアリマス、所ガ米穀統制法ノ立前ト致シマシテ、一旦政府が買上ゲマスレバ、殆ド其米ハ民間ニ出シ得ナイ、謂ハバルデ封ジラレテンマフ譯デアリマシテ、殆ド需給ノ調節ニ之ヲ使フト云フコトヘマア出来ナイコトニ相成ツテ居リマス、所ガ之ヲ政府ノ倉ニ納メマセヌデ、民間ノ倉貯藏ヲ致シテ置キマスルト云フト、其後ニ於ケル米價ノ事情等ニ依リマシテ、貯藏ノ解除ト云フ途モアル譯デアリマシテ、餘程私共ハ其點ニ於テ調節ノ作用ガ起リ得ルト考ヘルノミナラズ、左様ナコトニ依リマシテ、政府ノ買上數量ト云フモノガ相當ニ減少セラルト云フコトハ、ドウモ私共ハ間違ヒノ

ナイコトデハアルマイカトス様ニ考ヘル譯デアリマス、デ申ス迄モナク政府ノ倉ニシマッテ置キマス位、經濟的ニハ不引合ノモノレバ、是ガ政府ノ倉ニシマフ場合ニ比較ナイト思ヒマスノデ、政府ノ倉ニシマハイナイデ、他ノ方法ニ依ッテ需給調節ガ出来マス、是ガ政府ノ倉ニシマシテ、財政上ノ負擔ガ輕クナルトイタシマシテ、御認メ願ツテ宜イノデヤナインコト考ヘルノデアリマス、第一ハ需給推算ト云フコトガ、此自治管理案ノ基礎的要件ト相成ツテ居ルガ、此事タルヤ、極メテ困難ナコトデアッテ、殊ニ消費量ノ推算ノ如キハ殆ド不可能ナコトデアルカニ、之ヲ實際政策ノ基準ト致スコトハ不都合デハナイカト云フ御意見デゴザイマス、申スマデモナク需給推算ノ極メテ困難ナ計算デアリマスルコトハ、是ハ御説ノ通りデゴザイマス、併ナガラ最近ニ於キマシテ、相當此點ニ付キマシテハ、農林省ノ事務當局ニ於キマシテモ漸次習熟イタシテ參ルノデアリマスルシ、更ニ又今回ノ法案ガ幸ニ成立イタシマスレバ、斯様ナ點ニ付キマシテ一層ノ力ヲ用ヰタイト考ヘテ居リマスノデ、其計算ノ誤算等ハ成ルベク少カラシメ得ルコトト信ブルノデアリマス、尤モ米ノ需給ノコトハ其計算ヲ致シマスル時ト、其後ノ情勢ノ變化ニ依リマスル當然ノ計算ノ相違ト云フコトハ是ハ起り得ル譯デアリマス、例ヘバ第二回收获豫想ニ依リマシテ、需給推算ヲ立てマシテ、其後ニ於ケル天候ノ如何ニ依ッテ米ノ實收ニ非常ナル開キガ起ルト云フヤウナ、斯様ナコトハ、是ハ殆ド不可抗力的ノ計算ノ異動ハ起り得ル譯デアリマスケレドモ、唯其場合ニ對スル對策ヲ一つ立テ置ケバ、ソレデ宜イ譯デヤナイカ、即チ左様ナ場合ノ爲ニ必要ナ際ニハ、第二次統制ヲ行フト云フ途ヲ設ケテアルノモ其爲デアリマス、更ニ又若シ供給ノ方ガ豫想以外ニ少クシテ、供給不足ノ状態ニアリマスル場合

ニ於テハ、貯藏米ヲ解除イタスト云フコトニ依ツテ調節ガ取レル譯デアリマシテ、斯様ナコトヲ致シマスルコトガ現在ノ統制法ノヤウニ、政府ノ倉ニマルデ封印ヲシテ閉メ込ンデシマフト云フ組織ヨリモ、餘程私共ハ實際ノコトニ役立ツト思フノデアリマス、斯様ニ固ヨリ需給ノ推算ハ困難デアリマス、困難デアリマスケレドモ、總テ米ノ政策ヲ考ヘマスル場合ニ、需給推算ト云フコトヲ、之ヲ基礎ニシテ考ヘテ行クゝ云フヨト、是ヨリ外ニ方法ガナイ譯デアリマスカラ、假令計算ガ困難デアルカラト云ツテ、之ヲ以テ政策ノ基礎トシテ考ヘテ行クコトハ不都合デアルト云フ御議論ハ、或ハ私ノ同ヒ誤リカ知レマセヌケレドモ、如何ナコトトデアラウカト云フ風ニ考ヘル次第デアリマス、ソレデ最後ニ需給推算ハ困難ナコトデアル、困難デアルカラ政府ハ何十萬石位マデノ違算ハ差支ナイト云フヤウナ考ラ有ッテ居ルノデアルカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ何十萬石マデノ違算ハ宜シイトカ、宜シクナイトカ云フ風ニ考ヘテハ居ナイノデアリマシテ、第一回ノ需給推算ニ依ツテ、過剩米穀ノ統制ヲ行ヒマシテ、其後米ノ需給關係ニ相違ヲ生ジマシタル場合ニハ、先刻申上ゲマシタヤウナ或ハ第二次統制ヲ施行シ、或ハ是ト反對ノ場合ニハ、貯藏ヲ解除スルト云フヤウナ方法ニ依ツテ計算上ノ間違ハ調節イタシテ行ク、此方法ヲ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、或ハ御満足ヲ得ルコトハ出來ナイカト存ジマスガ、之ヲ以テ一應ノ御答ト致シマス

ズルモノト、日本ノ米界ノ事情ハ過剩米  
ガ生ズルモノト思ッテ居ルヤウダ、斯ウ云フ  
風ニ仰シヤッタノデアリマス、私ハ絶対ニサ  
ウデナインデアリマス、是ハ他ノ機會ニ於  
テ伺ハウト思ヒマシタノデスガ、農林省デ  
ハ過剩米ガ年々生ズル、ソレデドウカシナ  
ケレバナラス、斯ウ云フコトヲ衆議院デモ  
言ツテ居ラレル、私ハサウ考ヘナイ、是ハ御  
聞達ヒデゴザイマスカラ正シテ置キマス、  
實ハ外地米ノコトハ申サヌ積リデアリマシ  
タケレドモ、只今農林大臣ガ外地米ニ引掛  
ケテノ只今ノ御發言デアリマスカラ、ヨツ  
ト申サンケレバナラヌノデアリマス、私ノ  
所見ニ依レバ、外地米ガ内地ヲ壓迫スルト  
申シマスケレドモ、ソレハ一年ヲ通ジテデ  
ハナイノデ、出來秋ニ壓迫スルノデ、一年  
ヲ通ジテハ大體ニ於テ過剩米ナシ、斯ウ云  
フ風ニ私ハ見ルノデアリマス、是モ昭和二  
年度カラ八年度マデノ統計ヲ取リマシタ、  
全部農林省ノ米穀局ノ材料ニ據リマシタ、  
此統計ニ依リマスト昭和二年度カラ八年度  
マデ七年間、内地ノ產額ヲ以テ消費額ヲ償  
フコトハ無論足ラヌノデアリマス、内地ノ  
產額ト朝鮮及臺灣ノ移入額トヲ加ヘテ、サ  
ウシテ消費額ヲ償フカト云フト

ノダカラ、ソレダカラズット移入ガ殖エルニテ來  
ル、何ノ不思議モナイ、是ノ殖エルノガ惡  
イト云フコトナラバ高米價政策ガ惡イト云  
フコトニナル、高米價政策ガ良イト云フナ  
ラバ、是ノ殖エルノハ當然忍バナケレバナ  
ラヌ、當リ前ノコトナノデアル、斯ウ云フ  
見地カラ大體ニ於テ私申シテ置キマス、  
大體ニ於テ過剩米ガ年々アルト云フコトハ  
私ハ否定シマス、ソレカラ先刻申述ベマシ  
タ中ニ此五百萬石ノ過剩米ガアル、ソレヲ  
統制スルカ、又ハ統制シナイデ今日ノ儘ノ  
統制法ダケデヤルカ、其國庫ノ負擔ノ差額  
ハドウダト云フ表ヲ政府カラ御出シニナリ  
マシタト申シマシタ、チヨット今數字ヲ忘レ  
マシタガ、ソレハ其計算ノ結果ハ二千七八  
百萬圓ダケ新法ニ依ツテ國庫ノ負擔ガ減ル  
トスウ云フコトヲ出シテオイデニナル、誠  
ニ申シニクイコトデアリマスガ、私ハ國庫  
ノ負擔ガ減ルト言ハナケレバ都合ガ惡イカ  
ラ出サレタノデヤナイカト云フヤウナ、ド  
ウモ邪推デゴザイマセウ、邪推デゴザイマ  
セウガ、サウ云フ風ナ邪推シカ起ラナイノ  
デアリマス、一年ニ二千七八百萬圓ト云フ  
モノノ負擔ガ輕減スルト云フコトハ到底ア  
リ得ベカラザルコトデアル、常識デ、唯表  
ノ中ヲ詳シク點検シマスト、非常ナ穴ガ澤  
山ニアル、其穴ヲ調ベマスト、今ノヤウナ  
モノハ出テ來ナイ、唯表ヲ一見シタ時ハサ  
モ二千八百萬圓減ルヤウナ風ニ、餘り詳シ  
ク表ヲ讀マヌ人ニハ見エルヤウニ出來テ居  
ルト思フ、私意地ノ惡イコトヲ申シマシタ通リニ、  
初メカラ政府ガ國庫ノ負擔ヲ減サウト云フ  
積リハナイ、ソレハ調查會ノ經過ニ依ツテ明  
カナンデアル、アトデサウ言ハナケレバナ  
ラヌカラ、ソレデ今ハ非常ニ熱心ニ此國庫ノ

負擔ヲ減スシダト仰シヤルノデアリマスガ、  
ドウモ餘り私經過ヲ能ク知ッテ居ルカラ實  
ハ私ガ思イノデ、經過ヲ知ラナケレバソシ  
ナコトヲ思ハヌ、經過ヲ知ッテ居リマスト、  
ドウシテモソンナ風ニシカ思ハレヌ、今此  
處デ表ヲ點検シマスト云フコトハ到底出來  
マセヌカラ私ハシマセヌケレドモ、驚クベ  
キコトデアルト私ハ思フ、ソレカラ需給推  
算ノ問題ハ是ハ非常ナ此案ノ骨子ヲナスノ  
デアリマス、ソレニ對スル御答辯ガ誠ニ要  
領ヲ得ナイ、オ前ノ言フヤウナコトガ起ツタ  
ナラバ第二次統制ヲヤルンダ、ソレデ又過  
剩米ガ殻エレバ過剩米ノ殖エタト云フ數字  
ヲ出シテ計算スルトスウ仰シヤルノデス  
ガ、第二次統制ト云フノハ私ハ慥カ一月ノ  
米ノ實收額ガ極シテ、二月頃ニオ出シニナル  
コトト思フ、所ガソレヨリモ遲レテ三月云  
シヨ、去年出タノハ三月デスヨ、其三月ニ  
出タ分ニ朝鮮、臺灣カラノ移入ガ二百萬石  
ノ見當達ガアル……見當達トハ言ヒマセ  
ヌ、見込達ガ、正味二百萬石ノ見込達ナン  
デ、第二次統制ノ二月ノニハ大シテサウ云  
フ見込達ハナイダラウガ、去年ノ三月ノニ  
ハ六百萬石ノ見込達ガアツト云フコトハ  
早ク仰シヤツテ居リマス、ソレカラ第二次統  
制ノ後ニ第三次、第四次デモヤルヤウナ御  
口吻ニ聞エマシタガ、是ハ何カノ御間違デ  
アラウト思フ、第二次統制ヲヤレバ今度ノ  
新法ニ依レバ第二次統制シカヤレナイ、第  
三次統制ハヤルコトハ出來ナイ、第二次統  
制ハ去年ノ衆議院ニ需給推算ヲ出サレタヨ  
リモ一箇月前、ソコデ誰ガ惡イトモ何トモ  
言フノゾヤナイ、需給推算ハ出來ヌモノダト云  
フコトヲ思フ、需給推算ヲドウシテモシナケレバ  
此法ガ行ハレナイ、ダカラ此法ハドウシテ  
モ行ハレナケレバナラヌモノダト云フコト  
ヲ農林大臣ガ前提ニ御置キニナレバ別論デ  
ス、ソンナ全ク出來ナイモノヲ相手ニシ  
テ、サウシテ無理ヤリニ此法律ヲ行フト云

（扶コトハドウシテモ私ニハ理解ガ出来ヌ  
若シ御答辯ガアリマスレバ伺ヒマスシ、又  
御答辯ニ依リマシテ今ノヤウナ私迄年々過  
剩米アリト云フコトヲ言ツテ居ルト云フヤ  
ウナニ御考ニナル間違デモナケレバ私ハモ  
ウ此壇上ニ起チマセヌ、何カアリマシタラ  
已ムヲ得マセヌカラ御許シヲ得テ又…  
○議長（公爵近衛文麿君）農林大臣  
(國務大臣山崎達之輔君) 上山サンノ重  
ネテノ御發言ヘ結局數字ニ依リマシテ御意  
見モ伺ヒ、又當局ノ考モ申上ゲマセスケレ  
バ盡シ難イヤウニ考ヘマスノデ、此場合ハ  
御遠慮申上ガテ置キタイト存ジマス  
○上山滿之進君 (私ノ質問ハ是デ終リマス  
○議長（公爵近衛文麿君）大河内子爵  
(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)  
○子爵大河内輝耕君 ドウモ會期切迫ノ際  
ニ皆様ヲ御煩シ致シマシテ誠ニ恐縮ニ存ジ  
マス、實ハ私ノ質問ハ豫算委員會ニ致シマ  
シタノデ、農林大臣ガソレハ此方ヘ提出ニ  
ナツデカラ答ヘルト云フノデ御答ケガ留  
保ニナツテ居ツタ、實ハ御答ダケ伺ツテモ宜  
シイノデスケレドモ、餘リ事方分リマセヌ  
カラ、チョット簡単ニ要點ダケ説明サシテ戴  
キマス、私ノ質問スル所ハ此前貴族院カラ  
モアア云フ希望決議ガアリマシタノデス  
ガ、到底今度ノ法案案ヘ其目的ヲ達スルコ  
トハ出來ナイ、此法案ヲ以テ満足シナイ、  
尙ホモウ一層政府ハ進ンデ之ガ考究ヲ重ネ  
テ貴ヒタイ、斯ウ云フ私ハ考ナノデス、其  
點ヲ質問イタシタイ、ソレハドウ云フ譯カ  
ト云フト、ドウモ政府ノ此米ノ政策ガ徹底  
シナイ、方角ガ間違ツテ居ルヤウニ私ハ想  
フ、此米穀ガド云フ譯デ斯ウ云フコトニナッ  
テ來タカト云フト、是ハ外地米ノ方カラ斯  
ウ云フコトニナツテ來タ、外地米ノ方ニ頭ヲ  
向ケナナイデ置イテ、之ヲドウカシロト言  
タツテ出來ル話デナシ、今度ノ法案ニ付テ  
二三ノ點ヲ簡單ニ申上ガマスト、第四十一  
條ニ此統制ノコトガ書イテアル、過剩米ガ  
出タラバ統制スル、一體其過剩米ト云フノ  
ガドウ云フモノカト云フト、是ガ本當ニ實  
際ノ過剩米デヤナイ、唯政府デ過剩米ト認メ  
クモノヲ過剩米ト見タダケノ話デ、神様ノ  
作タ過剩米デモ何デモナシ、サウシテ是ダ

ト云フト、假リニ朝鮮ヲ例ニ取リマス、其四割三分ヲ朝鮮デ統制スル、而モソレハ生産費デ買上ゲル、斯ウ云フコトニナル、ドノ位ノ數量カト思ツテ見マスト豫算ナドヲ見マスト云フト、過剩米ト云ノノハ五百萬石位、年々ソレハ遠フニハ違アリマセヌガ、政府ハ大概其位ノ見达ハ立テ居ルノデ、サウスルト四割ト云フカラニ一百萬石、ソレ位ノモノヲ何デ買上ゲルカト云フト生産費デ買上ゲル、是ハ第一點トシテ餘程オカシイ、生産費ハ從來上山サンノ御主張ノヤウニ率勢米價ト云フヤウナモノデヤルナラ宜シウゴザイマスケレドモ、何分人間ノ作ツタ生産費デスカラ、必ズ高クナルニ極ツテ居ル、此點カラドウシテモ外地ノ米ハドンドン生産ヲ獎勵サレテ來ル、是ガ本案ガ外地米生産獎勵案デアルト云フコトノ第一點デアリマス、ソレカラ第二點ト致シマシテハ、外ノ米ハドウナルカ、朝鮮ニ例ヲ取リマスト千八百萬石ノ生産ガアル、ソレニトコチラノ生産費ト比べテ見レバ、私ハ素人ノコトデ能クリマセヌガ、朝鮮ノ方ハ統制ノ途ガ付ク、アトノ千六百萬石ハ大手ヲ振ツテ内地ヘ入ツテ來ル、アチラノ生産費トコチラノ生産費ト比べテ見レバ、私ハ素人ノ生産費ニ比べテ安イニ極ツテ居ル、ソレデ労力モ安イシ土地モ安イ、又手厚イ保護モ受ケテ居ルシ、稅モ安イ、總テノ條件ガ内地トハ違ヒマスカラ、向フノ生産費ガ内地ノ米ガ上ガラレル、サウ云フコトニナルノハ當リ前ノコトデアル、ソンナコトヲ捨ニ入ツテ來レバ、ドウシテモ内地ノ米ガ騰リヤウガナライ、内地ノ米ガ引下ガラレテ、外地ノ米ガ上ガラレル、サウ云フコトニナルテ居ルノガ間違ツテ居ル、コンナコトヲ何時マデモヤツテ居ツテハ、農村救濟ナドハ何年經ツテモ出來ハシナイ、ソレガ第二點、ソレカラ第三點ト致シマシテハ、第二次統制ト云フコトガアル、是ハ第二次統制ノ方ハ何ノ價格デ統制スルカト云フト、數字ハ是ハ大シタコトハゴザイマスマイ、只今上山サントシタコトハゴザイマスマイガ、併シは外地デ買ヒマス時ニハ、其價格ハ勅令ヲ以テ

定メルトアリマスカ、内地米ノ生産費ヲ標準トシテ定メラレルコトノヤウニ承知イタシテ居ル、是ハ豫算委員會デ質問ヲ致シマニテ答辯ハ得テ居ル、ソレデサウ云フ風ナ工合ニナツテ、朝鮮ノ米ヲ買フノニ、内地ノ價格デ買フ、詰リ内地ノ米ノ最低價格カラ運賃、格差ヲ引イタモノデ買フト云フコトニナレバ、ドウシテモ内地米ノ生産費ガ標準ニナツテ來ル、ソレデ買フト云フコトニナレバ、ソレデハ外地ノ米ハ作ツタダケ得ダト云フコトニナル、サウ云フ風ニシテ外地ノ米ヲ買フト云フコトニナレバ、朝鮮ノ米ハドン／＼殖エテ來ルニ極ツテ居ル、サウシテ内地ノ米ハソレガ爲ニドウシテモ下グラレル、サウスルト政府デソレフ買フト云フコトニナル、仕方ガナイカラソレヲ買フ、買フカラ政府デドウニモナラナクナツテ、又米穀資金デモ殖ヤシテ買フ、吸上げテ置イテ其側カラ注ギ込ンデ行ク、コソナ底抜ケノ政策ヲヤツテ居ツテハ、何時マデ經ツテモ何ニモナラナイ、終ヒニハ財政上ドンナコトニナツテシマフカ分ラナイ、思切ツテ外地米ヲ何トカナサラナケレバ、迎モイケナイト思フ、併シ此點ニ付テ私ハ農林大臣ノ御考ハ今伺ハウトハ申シマセヌ、唯私ノ希望スル所ハ、ドウモ此案ハ餘り完全ナ目的ハ達セラレナイヤウニ思フカラ、將來篤ト者慮シヤウトカ、殊ニ國策審議會ナドモ出來ルト云フヤウナコトデゴザイマスカラ、サウ云フモノニ御掛けニナルトカ御掛けニラヌト云フコトハ御隨意デゴザイマスガ、是ハ要スルニモット能ク御考ニナツテ、サウンテ少シモ農村ノ困ルコトガナイヤウニ、同時ニ外地ノ農村モ困ラナイト云フヤウナ案ヲ是非共御立ニナルコトガ必要グラウト思ヒマス、其ニ付テ御答ヲ得レバ、私ハソレデ宜シノデアリマス

ト若ヘルノテアリマス、然ニ大河内子爵御心配ニ相成リマシタヤウニ、内地、外地ノ關係ノ如キ、此數年來相當ノ論議ヲ重ねラレテ居リマシテ、動モスレバ、是ガ朝鮮等ノ統治ノ關係ニモ如何デアラウカト云フヤウナ懸念モナキニシモアラザル狀態デアッタノアリマス、今回幸ニ對策調査會ニ於キマシテ、各委員各位方數箇月ニ瓦リマシテ、熱心ナル御研究ヲ煩ハシ、又朝鮮、臺灣等ニ於キマシテモ、今回ハ何トカ此數年來ノ内地外地ノ紛争見タヤウナ關係ニナツテ居ルコトニ對シテ、解決ヲ與ヘルコトガ諸般ノ意味合カラ必要デアル、斯様ナ氣持ヲ持タレマシテ、全ク内地外地ノ間ニ何等ノ間隔ナク、一致點ニ到達イタシタヤウナコトデアリマス、固ヨリ此案ヲ御覽ニナリマスル角度々々ニ依リマシテノ御不満ハ、是ハ私ハ餘儀ナイコトト思ヒマスルケレドモ、諸般ノコトヲ綜合シテ御考ヲ願ヒマスレバ、私ハ御懸念ナド左様ニ不完全ナ案トハ實ハ、是ハ露骨ニ申上ゲマスガ考へ得ナイノデアリマス、併ナガラ如何ナル政策ト雖モ一度ソレガ解決スレバ、ソレデモウ後ハ永久ニ宜シイカト言ヘバ、是ハ左様ニハ參リマセヌ、無論此度幸ニ兩院ノ御協賛ヲ經マシテ、此案ガ成立イタシマシテモ、然努ムベキコトデアルト斯様ニ考へテ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君此處カラ申上ダマス、意見ノ相違ハ此際申シマセヌ、多分意見ノ相違ハナイノダラウト思ヒマス、幸ニシテ今農林大臣ガ御述ニナツタヤウナコトニナレバ、誠ニ結構デアリマス、併シ農林大臣モ尙ホ今後モ考究ヲ重ネテ宜クナルヤウニシタイモノダト云フ今御希望、御決心ノコトヲ表明サレマシタ、私ノ希望ハ先ヅ其點ニ於テ満足デアルト存ジマス、是テ私ノ質問ハ止メテ置キマス

○子爵池田政時君只今上程サレマシタ各案ハ、極メテ重要ナ法案デアリマスガ故ニ、其特別委員ノ數ヲ十八名トシ、其指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵今城定政君賛成

○議長(公爵近衛文麿君) 池田子爵ノ動議



ノ主張ノ値段ニ懸隔ガアリマスノデ、此値段ノ協定ニ付キマシテハ相當困難ナ問題ガ、アツナデアリマスガ、幸ニソヴィエト聯邦ニ於キマシテモ、非常ナ讓歩ノ精神ヲ以テ之ヲ引下ゲ、又満洲國ト致シマシテモ十分ニ之ニ應ズル態度ヲ以チマシテ、結局ノ所鐵道ノ代金ヲ一億四千萬圓ト云フコトニ致シマシテ、其外ニ此鐵道ノ從業員ヲ總司令揚ゲルコトニ相成リマスノデ、之ニ對スル退職資金ト致シマシテ、約三千萬圓ヲ満洲國ガ支出スルコトニ相成ツタノデアリマス、又此鐵道ハ隨分長間經營ヲ致シマシタ關係上、此鐵道ニ對シマシテ種々ノ債權債務が存在シテ居ルノデアリマス、此債權債務ニ付キマシテハ先方ヨリ其貸借對照表ト云フモノヲ提出イタシマシテ、其内容ヲ満洲國ニ取調べマシタ結果、大體全部引受ケテモ差支ナイ、決シテ債務ノ方ガ債權額ヨリ超額コトヘナイト云フ認定、ガ付キマシタノデ、其儘引受ケルコトニ相成ツタノデアリマス、居ルノデアリマス、代金ノ支拂方法ニ付キマシテハ一億四千萬圓ノ三分ノ二ハ満洲又ハ日本ニ於ケル商品ヲ買入レルト云フコトニデ、此支拂方法ニ付キマシテハ當初色ニマス、此支拂方法ニ付キマシテハ、三分ノ一ハ現金デ支拂フコトニナリマシタ、其更ニ半分ヲ調印ト同時ニ支拂フコトニ相成リマシテ、是ハ昨日其交付ヲ終ツタノデアリマス、此支拂方法ニ付キマシテハ當初色ニマス、此支拂方法ニ付キマシテハ、三分ノ二ハ現金デ支拂フコトニナリマスガ、結局鐵道代金等ノ現金ノ分ト致シマシテハ、滿洲國ヨリ國庫證券ヲ一應先方に渡シマシテ、期限ガ到來イタシマシタ場合ニ、興業銀行デ之ヲ引換ヘルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、是ハ調印後三箇年内ニ支拂ヲスル筈デアリマス、又商品拂ノ部分ハ今東京ニアリマスル「ソ」聯邦政府ノ通商代表ニ於キマシテ品物ノ購買契約ヲ致シマシテ、其契約書ヲ満洲國ノ方ヨリ日本ニ派遣イタセテ居リマスル財務官ノ方ニ取調べマシテ、此條約ニ違反シナイ場合ニハ其代金ヲ直接小切手ニ依ジテ日本ノ商人ニ渡スト云フコトニ相成ツテ、此方法ニ依リマシテ全部

ノ金ノ支拂ヲスルコトニナシ居ルノデア  
リマス、ソヴィエト聯邦側ト致シマシテ  
ハ、斯カル代金ヲ以テ此鐵道ヲ讓渡スルノ  
デアルカラ、將來此代金ノ支拂ニ於テ何等  
「ロシア」ノ方ニ損害ヲ來スヤウナコトガ  
此支拂ニ付テ「ソヴィエト」聯邦ノ方ニ損失  
ヲ掛ケルト云フコトハ決シテアリ得ナイト  
ニ於テ其保障ヲ求メラレタノデアリマス、  
之ニ對シマシテ我方ト致シマシテハ決シテ  
ヲ保障イタシマシテ、尙ホ其實際ノ手續ト  
思フカラ、其點ハ十分安心スルヤウニト云  
フコトニ致シマシテ、先づ第一ニ滿洲國ニ  
於テ此既定ノ支拂ヲ完全ニスルト云フコト  
致シマシテハ、他日何等カ支拂ノ困難ヲ滿  
洲國デ感ズルヤウナ場合ニハ、日本政府ニ  
於テ適當ニ十分ナル盡力ラシテ支拂ノ不能  
ナカラシムルヤウニ、完全ニ其支拂ヲ行ハ  
シメルヤウニ盡力スルト云フコトヲ約束イ  
タシタノデアリマス、尙ホ斯カル保障ヲ致  
シマスルニ付キマシテハ、滿洲國政府ヲシ  
テ完全ニ其義務ノ履行ヲ日本ニ對シマシテ  
約束ヲ致サセタノデアリマス、然ルニ實際  
ノ情況ヲ申シマスルト、滿洲國モ建國勿々  
ノ際ニアリマスノデ、到底是ハ日本ノ援  
助ヲ待ツノ外ハナイト云フ次第アリマス  
ノデ、政府ト致シマシテモ其間ニ十分斡旋  
ヲ致シマシテ、日本ノ興業銀行外十二ノ銀  
行ト四ツノ信託會社ヨリ成ル日本銀行團ト  
云フモノト滿洲國ノ間ニ、一億八千萬圓ノ  
公債募集ノ契約ヲ致サセタノデアリマス、  
從ヒマシテ此支拂ト云フモノハ銀行トノ其  
契約ニ依リマシテ、完全ニ行ハレ得ルモノ  
ト信ゼラレルノデアリマス、又此銀行團ト致  
シマシテモ、十分滿洲國ノ立場ヲ諒解シ、政府  
ノ満洲國援助ニ對スルト同ジ精神ヲ以テ、出  
來ルダケ有利ノ條件ニ依テ此公債ノ募集ヲ  
爲シ得ルヤウニ努力ヲ致シテ吳レタノデア  
リマス、從ヒマシテ公債募集ノ際ニ若シ市場  
ノ情況等ニ何等カ不利ノ點ガアリマスレバ、  
銀行團ノ方ヨリ五千萬圓ノ範圍内ニ於テ前  
貸ヲシテモ宜イト云フコトニ成ツテ相居ルノデア  
リ高ハ、日本又ハ滿洲國ノ商品ヲ買入レル  
ト云フコトニ相成シテ居リマスノデ、其買入  
レニ付キマシテモ賣手ノ方ヨリ法外ノ値段

ヲ言ハヌヤウニ、又買手ノ方ヨリ法外ニ安  
イ値段ヲ附ケナイヤウニ、其間ニ適當ナ値  
段ヲ決メサセルヤウニ、政府ハ盡力ヲ致ス  
ト云フ約束ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙  
ホ斯カル状態ニ於キマシテモ或ハ値段ノ協  
定、又ハ賣買契約ノ履行ニ付テ紛争等ノ起  
ル場合モ想像致シマシテ、關係國ヨリ委員  
ヲ出シマシテ、調停委員ニ依ツテ其適當ナル  
解決方法ヲ勧告スルコトニ致シタノデアリ  
マス、尙ホ萬一其調停委員會ノ調停ニ依リ  
マシテ解決ガ出來ナイ場合ニ於テハ、關係國  
國間ノ外交交渉ニ依ツテ之ヲ決定スルト云  
方法モ立テタノデアリマス、今回ノ鐵道  
ノ讓渡ニ依リマシテ約六千人ノ職工ガ本國  
ニ引揚ゲルコトニ相成ルノデアリマス、之  
ニ對シマスル退職資金ハ從來ノ鐵道ノ規則  
ニ依ツテ支拂フコトト相成ツテ居リマス、又  
此鐵道ト「ロシア」側ノ鐵道トノ連絡ノ爲  
ニ、引續キ交渉ヲ致シマスシ、又電信ノ連  
絡ノ點ニ付キマシテモ交渉ヲ致スコトニ  
ナツテ居ルノデアリマス、斯様ノ状態ニ於キ  
マシテ昨日調印ヲ致シマスト同時ニ、此鐵  
道ノ権利ト云フモノハ完全ニ滿洲國ニ歸シ  
マシテ、滿洲國ノ國有鐵道ト相成ツタノデア  
リマス、所方此鐵道ヲ將來如何ニシテ經營  
營、運轉スルカト云フコトニ付キマシテ  
ハ、是迄滿洲ニ於キマシテ最モ經驗ノアル  
滿鐵ヲシテ、委任經營ノ任ニ當ラシムルコ  
トニ致シタノデアリマス、從ヒマシテ從來  
滿鐵ニ於キマシテ満洲國ノ委任經營ヲ受ケ  
テ居リマスル諸鐵道ト一括イタシマシテ、  
滿洲ニ於ケル總テノ鐵道ハ滿鐵ノ經營ノ下  
ニ一元的ニ相成ルコトニ相成リマシタ、之  
ニ依リマシテ交通ノ便モ十分ニ開ケマシ  
テ、滿洲ニ於ケル產業ノ發展ニモ大イニ資  
スルコトデアルト思フノデアリマス、斯カラ  
ル状態デアリマシテ此鐵道ノ讓渡交渉ト云  
フコトハ、滿「ソ」兩國間ニ於ケル和衷協同  
ノ精神ニ依ツテ成立イタシマシテ、之ニ依ツ  
テ延イテ日、滿、「ソ」三國間ノ關係ニモ甚  
ダ重大ナル好影響ヲ及ボスト思フノデアリ  
マス、尙ホ滿洲國ト「ソヴィエト」聯邦トノ  
間ニ於キマシテモ、又日本ト「ソヴィエト」  
聯邦トノ間ニ於キマシテモ、幾多懸案ハ存  
在シテ居ルノデアリマスガ、此鐵道交渉ニ  
臨ミマシタヤウナ、雙方和衷協同ノ精神ヲ

以テ問題ノ解決ニ當ツテ參リマシタナラバ、私ハ必ズヤ各種ノ懸案モ無事ニ解決シ得ルモノト信ズルノデアリマス、幸ニ此交渉ニ付キマシテハ滿洲國ニ於テハ無論、日本ニ於キマシテモ亦「ソヴィエト」聯邦ニ於キマシテモ、非常ナ満足ヲ以テ此交渉ヲ纏ムルコトヲ得タノデアリマスカラ、之ニ依リマシテ尙ホ將來ニ於テモ一層、此和衷協同ノ精神ヲ増進シテ參ル方針デ參リタイト思フノデアリマス、以上交渉ノ成立及此交渉ノ大體ノ經過ニ付キマシテ、御報告申上ゲル次第デアリマス（拍手起ル）○議長（公爵近衛文麿君）明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、日程ハ決定次第臺報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

貴族院議事速記錄第十四號正誤